

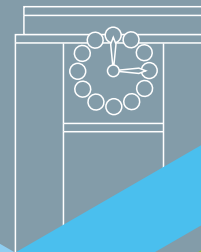


京都大学 Center for the Promotion of Excellence
in Higher Education, Kyoto University
高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 | 電話：075-753-3087 | Fax：075-753-3045

京都大学の教育サポートリソース

How Kyoto University supports your teaching and student learning



情報環境機構

図書館機構

総合博物館

学生総合支援センター

環境安全保健機構健康管理部門 保健診療所

国際教育支援室および国際教育交流課

男女共同参画推進センター

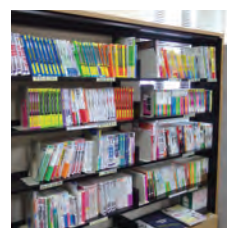
高等教育研究開発推進センター



京都大学には、教育サポートを行っている多くの組織があります。しかし、従来、その活動を一目で見渡せる資料がありませんでした。そこで、2012年に作られたのがこのパンフレットです。

その後、組織の改編・統合があり、活動の中身も変わってきました。それに伴い、それぞれの組織から情報を提供していただきながら、2015年に第2版、そしてこのたび第3版を作りました。

教育上で何か困ったことが起きたとき、何か新しいことをやろうとするときには、このパンフレットを開いてください。きっとサポートしてくれる組織・活動が見つかるはずです。手元に置いておいて活用していただければ幸いです。



CONTENTS

情報環境機構	5
図書館機構	9
総合博物館	11
学生総合支援センター	12
環境安全保健機構健康管理部门 保健診療所	15
国際教育支援室および国際教育交流課	17
男女共同参画推進センター	19
高等教育研究開発推進センター	21

こんなときには…

学生に関する相談

- 心理的に問題を抱えていると思われる学生に対して、どのように接していいのかわからない
→ **学生総合支援センター カウンセリングルーム** — **P13**
- 障害のある学生に対して、授業でどのような工夫が必要なのか知りたい
→ **学生総合支援センター 障害学生支援ルーム** — **P12**
- 学生や院生から就職について相談を受けたのだが、どのようにアドバイスすればいいかわからない
→ **学生総合支援センター キャリアサポートルーム** — **P14**

授業に関する相談

- 教材を作成するにあたって、アドバイスがほしい
→ **情報環境機構** — **P6**
- 資料提供、課題やレポートの出題・提出・採点・返却をオンラインで行いたい
→ **情報環境機構** — **P5**
- 京大でどのような授業が行われているのか知りたい
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P22**
- MOOCやOCWなどのICTを活用した教育について相談したい
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P22**
- インターネット環境を利用してキャンパス間や他大学をつないで授業を行いたい
→ **情報環境機構** — **P6**
- 学生に資料の探し方を教えたい
→ **図書館機構** — **P9**
- 学生に授業外で自主学習やグループワークをさせるための施設・設備を知りたい
→ **情報環境機構** — **P8**
→ **図書館機構** — **P9**
- 普段の教室以外の場所で資料・標本・ツールなど活用して授業を行いたい
→ **情報環境機構** — **P8**
→ **図書館機構** — **P9**
→ **総合博物館** — **P11**
→ **男女共同参画推進センター** — **P19**

研究活動に関する相談

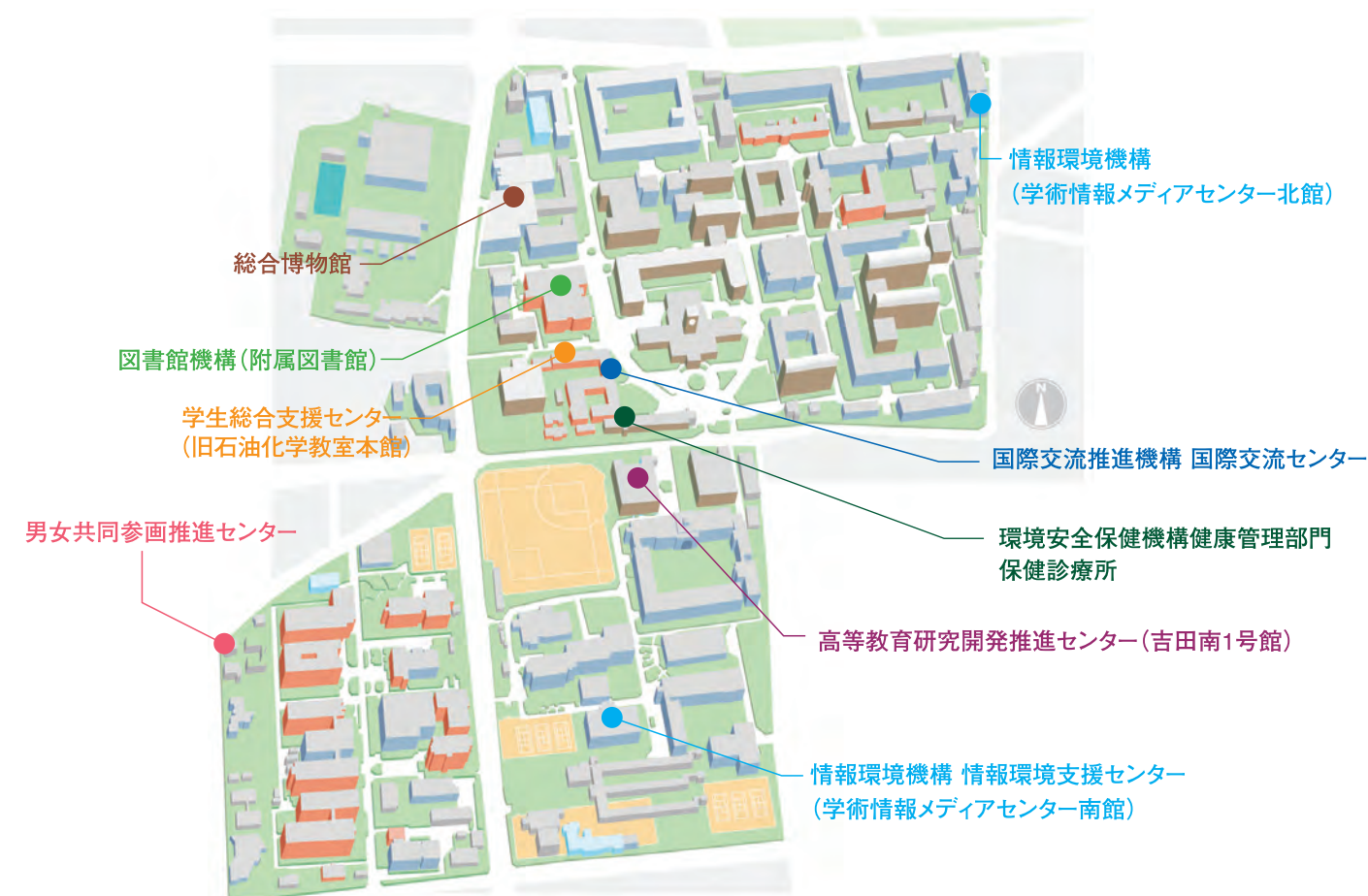
- 研究室のウェブサイトをつくりたいが、どのようにしていいのかわからない
→ **情報環境機構** — **P6**
- 遠隔会議を行いたい
→ **情報環境機構** — **P6**
- 海外からの研究者に必要な生活情報を提供したい
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P17**
- 保育室付きの会議室（10名程度）を利用したい
→ **男女共同参画推進センター** — **P20**
- 育児と仕事・研究の両立で悩んでいる
→ **男女共同参画推進センター** — **P19**

海外留学・留学生に関する相談

- 学生から海外留学について相談を受けたのだが、アドバイスや情報を得られる場所が知りたい
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P18**
- 学生の英語力を高めるためのアドバイスを受けたり、情報を得たりしたい
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P18**
- 留学生の日本語学習について相談したい
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P17**
- 海外の学生から、留学・入学についての問い合わせが来た
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P17**
- 学業や生活面で困っている留学生がいるので、相談したい
→ **国際教育支援室および国際教育交流課** — **P17**

教育研修や教育改善に関する相談

- 部局で教育改善の担当者になったが、何をしてよいのかわからない
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P21**
- 他の教員が行っている授業の工夫について知りたい
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P22**
- 京大の教育についてどのようなことが議論されているのか知りたい
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P23**
- どのような教育研修の機会があるのか知りたい
→ **高等教育研究開発推進センター** — **P24**





情報環境機構

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ総合窓口 情報環境支援センター E-mail: support@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構は、以下の機能を全学に提供しています

- 全学の情報基盤に関する企画と整備
- 情報環境の安全性確保
- 情報基盤の運用による多様な利用サービスの提供
- 高度な情報技術、情報活用能力を備えた人材の育成等

- ・ 情報環境機構では、情報通信技術 (ICT) の観点から京都大学における教育学習環境を整備し、教員・学生の教えと学びの活動を支援しています。

ここでは、次の3つについてご紹介します。

- (1) ICTを活用して教育を行うための「教育リソースの活用支援」
- (2) 利用のためのライセンスが必要な

「アプリケーション・ソフトウェアの利用支援」

- (3) ICT を活用した「施設・端末等機器の提供」

- ・ 各システム・サービスの利用に際しては、教職員アカウント

(SPS-ID) 又は学生アカウント (ECS-ID) が必要です。教員 (非常勤講師を除く) の方には着任時に SPS-ID が発行されます。非常勤講師の方には申請に基づき ECS-ID を発行しています。

▶ 詳しくは、情報環境支援センター (学術情報メディアセンター南館1階)

電話: 075-753-7840 または 7842、E-mail: support@iimc.kyoto-u.ac.jp までお問い合わせください。

1 教育リソースの活用支援

- ・ 情報環境機構では、授業に関連して使用できる教育リソースとして次のサービスを提供しています。

a ウェブベースの教育学習支援環境を提供する学習支援サービス (PandA)

- ・ 授業資料の提供や課題の出題・提出・採点・返却、オンラインテスト等、ウェブブラウザが利用できる端末から世界中どこからでも利用できる授業支援機能を提供するコースマネジメントシステムです。利用の開始手続きを教務情報システム KULASIS の「授業サポート」ページから行うことで、科目担当者・履修学生の登録は自動的に行われます (科目情報・履修情報の連携度合いは部局によって異なります)。

▶ 詳しくは、機構ウェブサイトから「PandA公式ガイドブック」をご覧ください。



b 高精細遠隔講義システムを利用した遠隔講義のサポートを行うための遠隔講義支援サービス

- ・ 吉田・桂・宇治キャンパス等の学内22教室に設置された高精細遠隔講義システムを利用した遠隔講義のサポートを行っています。

また、高精細遠隔講義システムは、他大学等との遠隔講義及び会議も可能です。



c 教員・学生間のコミュニケーションを支援する全学メールサービス (KUMOI)

- ・ クラウドサービス Microsoft Office 365 Education を用いた学生用メールサービスです。各学生には、@st.kyoto-u.ac.jp ドメインのメールアドレスが割り当てられ、PC やスマートフォンからメールの送受信が行えます。PandA から送信される各種通知メール (ファイルをアップロードした際や課題を公開した際など) は登録されている全学メールアドレスに送信されますし、KULASIS からの様々な教務関係のメールも送られます。

d 自宅や研究室からの授業準備を支援する遠隔デスクトップサービス

- ・ 本学の学生・教職員に対して自宅や研究室といった遠隔地から教育用コンピュータシステムの端末サービスの一部を利用することができるサービスです。自宅での自学自習や遠隔地での授業の準備などにご利用いただけます。ご利用にあたっては前もっての申請が必要です。

e eラーニング型での自学自習研修を支援するeラーニング研修支援サービス (サイバーラーニングスペース)

- ・ 学生生活におけるコンプライアンス研修や様々な講習をeラーニング型で提供できるサービスです。現在、国際高等教育院が「心の健康について」「危険ドラッグについて考える」「急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント」「京大生と自転車」「レポートの書き方」のeラーニング教材を、研究部研究推進課が「安全保障輸出管理研修」「動物実験研修」を提供しています。

f Web ホスティングサービス

- ・ 教育・学習活動の成果をウェブサイトを作成し、発信することができます。PandA でもウェブページを作成し、インターネットから誰でも閲覧可能にすることはできますが、Webホスティングサービスでは、CGI や PHP 等のスクリプト言語とデータベース (MySQL と Postgres) や CMS (Content Management System) を用いて、本格的なウェブサイトを構築できます。利用には利用負担金が必要となります。

g キャンパスICTラボ

- ・ 教育におけるICT利活用は従来の教え方を前提とした電子化から、アクティブラーニング、反転授業、eポートフォリオ等、ICTを積極的に活用し教育・学習効果を高める方向へ少しずつ変わりつつあります。そのために必要なシステムやサービスを自ら立ち上げ提供したり、他の人が立ち上げたものをお試しいただけます。

現在、

◆ OWNCLOUD: 同期型の Web ストレージサービス

◆ KYODAI NEWS: 自動収集型の京大関係ニュースのキュレーションサイト

◆ 研究データ保存サービス: 研究公正のためのメタ情報付きデータ保存サービスが利用できます。

2 アプリケーション・ソフトウェアの利用支援

・情報環境機構では、本学が使用するためのソフトウェアライセンス取得のための学内調整、事業者との交渉、契約を行うとともにライセンス管理のためのツールの提供など、取得されたライセンスの統一的な管理を行うことを目指しています。

一般的なソフトウェアについては、従来は各研究室、事務室が必要に応じて独自に購入し利用してきましたが、大学としてキャンパスライセンスを取得し、これを購入することによって、大学全体としてのソフトウェア購入経費を削減することができます。また、専門的なソフトウェアについても、利用する研究室がまとめてグループライセンスを取得することによって、同様の効果が得られます。

▶最新情報は情報環境機構webサイトをご確認ください。

【京都大学生協で購入可能】

- ◆ JUSTSYSTEM JL-Education Master 大学版 (株式会社ジャストシステム)
- ◆ Microsoft アカデミックオープンライセンス (マイクロソフト株式会社)
- ◆ Symantec Endpoint Protection 京大全校ライセンス (株式会社シマンテック)
- ◆ モリサワフォント学生向けライセンス (株式会社モリサワ)
- ◆ Multisim キャンパスサイトライセンス (日本ナショナルインスツルメンツ株式会社)
- ◆ LabVIEW キャンパスサイトライセンス (日本ナショナルインスツルメンツ株式会社)
- ◆ Adobe CLP ライセンス (アドビシステムズ株式会社)

・このような全学包括契約ライセンスだけでなく、専門的なソフトウェアのグループライセンス取得も含め、学内調整、事業者との交渉、契約を行うとともに、取得されたライセンスの統一的な管理を行うことを目指しています。

【研究者グループでの利用】

- ◆ MATLAB (MathWorks Japan)
- ◆ Maple (サイバネットシステム株式会社)
- ◆ ChemBioDraw Ultra (株式会社ヒューリンクス)
- ◆ ArcGIS (ESRIジャパン株式会社)

【個人での利用】

- ◆ EView (s QUANTITATIVE MICRO SOFTWARE)

【コンピューティングサービスでの利用】

・また、コンピューティングサービスでも、計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアのサービスを提供しています。(利用には、利用負担金が必要です)

- ◆ 可視化 AVS/Express、Tecplot、IDL、Exceed onDemand リモートセンシング ENVI
- ◆ 数式処理 Maple、Mathematica
- ◆ 技術計算 MATLAB
- ◆ 構造解析 Adams、Nastran、Patran、Marc、Marc Mentat、LS-DYNA、ANSYS
- ◆ 計算化学 Gaussian、GaussView、MOPAC 統計解析 SAS
- ◆ デバッグ TotalView

3 施設・端末等機器の提供

・教育用コンピュータシステムは、本学の情報教育のために提供されている端末システム群で、約1,400台のPC端末により構成されています。これらの端末群は、学術情報メディアセンター南館の情報教育・語学教育(CALL)用演習室に設置されるとともに、各学部の情報教育に関わる専門科目の授業を実施するためのサテライト演習室に設置されています。また、授業時間外でも自由にPC端末を利用できるオープンスペースラボラトリ(OSL)も学術情報メディアセンター南館・北館、附属図書館、吉田南総合図書館、桂キャンパス船井交流センターの5ヶ所に配置されています。

・PC端末は、オペレーティングシステム(OS)としてWindowsおよびLinuxが利用できるとともに、ネットワークを通じてファイルサーバに接続することにより、どの端末を用いても同じ環境で利用できるようになっています。

・アプリケーションソフトウェアは学期ごとにバージョンアップ等の要望を調査しています。現在、ウェブブラウザ、Word、Power point、Excel、プログラミング環境等が利用できます。その他の利用可能なソフトウェア、語学教材についてはお問い合わせください。



研究者グループでの利用情報環境機構広報誌『Info!』

情報環境機構では、広く学内の構成員の方に機構で取り組んでいる様々な提供サービスの情報や活動状況などをお伝えするために、広報誌として『Info!』を年3回発行しています。

親しみをもっていただけるような広報誌となるよう、専門用語をできるだけ避け、わかりやすい内容となるよう努めていますので、ぜひご愛読ください





図書館機構

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

図書館機構のネットワーク

京都大学には、附属図書館のほか、学部や研究所などに約50の図書館・室があります。
図書館機構は、これらの図書館・室のネットワークです。

1 図書館の資料を利用するには

- ・蔵書数は全学で約690万冊です。利用条件は、所蔵している図書館・室により異なります。
一部を除いて、京大蔵書検索システム「KULINE」(クライン)で検索できます。
 - ▶ 図書館機構HP>本や雑誌・論文を探す>京都大学所蔵資料を探す>KULINE
- ・電子ジャーナル(約8.5万タイトル以上)、電子ブック(約38.5万タイトル以上)、データベース(100種類以上)が利用できます。ご利用にあたっては、SPS-ID(教職員アカウント)もしくはECS-ID(学生アカウント)が必要です。
 - ▶ 図書館機構HP>本や雑誌・論文を探す
- ・利用者個人ののためのオンラインサービス「MyKULINE」(マイクライン)では次のことができます。ログインにはSPS-IDもしくはECS-IDを使います。
 - ◆ 自分が借りている資料の返却期限の延長申し込み ◆ 京都大学が所蔵していない資料の他大学などからの取り寄せ
 - ◆ 現在他の人が借りている本の予約 ◆ 遠隔地キャンパスからの取り寄せ
 - ▶ 図書館機構HP>オンラインで申し込む>MyKULINE
- ・図書館のご利用全般については、機構HPの案内をご参照ください。 ▶ 図書館機構HP>サービス

2 レポート等を書くのに必要な情報探索技術を身につけるには

- ・論文・レポートを書くための文献や情報の収集、卒業論文作成のための文献調査等に必要な技術を演習によって習得しながら、情報探索の概要が学べる全学共通科目を実施しています(2単位)。
 - ▶ 図書館機構HP>大学図書館の活用と情報探索

3 研究・教育のサポートを受けるには

- ・図書館・室では、多様な学習の形態や学びのスタイルに合わせたスペースを用意しています。

【利用できる施設】

	室 名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
附属図書館	サイレント エリア	1室	146	学内所属者対象。静かに集中して学習するエリアです。PCや電卓などの音の出る機器は使用できません。
	メディア・コモンズ	1室	13(シアター席) 32(コモンズ席)	学内所属者対象。音楽や映画鑑賞、語学学習などができる施設です。
	研究個室	14室	14	大学院生・教員対象。インターネットに接続できる有線の情報コンセントがあります。
	共同研究室	5室	4~20	学内所属者対象。グループでの共同研究・学習などに利用できる部屋です。
	ラーニング・コモンズ	1室	100	学内所属者対象。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習等を行うことのできるスペースです。組み替え自由な机や移動式ホワイトボード、プロジェクター、電子黒板等が備わっており、多様な学習が可能です。
	学習室24	1室	99	学内所属者対象。月曜日:10:00~24:00・火曜日~木曜日:9:00~10:00を除く23時間、金曜日・祝前日:22時まで、土日祝日 10:00~19:00(図書館閉室日の利用を除く)が可能です。

▶ 図書館機構HP>「図書館・室一覧」タブ>附属図書館HP>利用案内

問い合わせ先 図書館機構HP > お問い合わせ

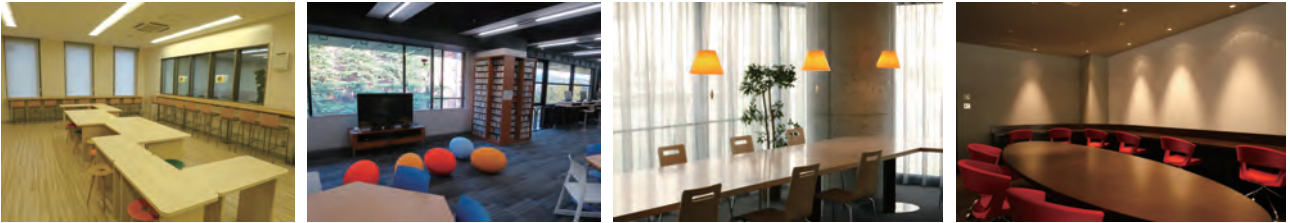
所在地・開館日程

図書館機構HP > 図書館を使うには > 図書館・室一覧

医学図書館	室 名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	グループ学習室	3室	2~12	医学部及び関係部局所属者
	セミナー室	1室	24	
	小閲覧室	2室	1~4	

吉田南 総合図書館	室 名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	環on(わおん)	4エリア	計40	学内所属者対象 (ただし、うちグループ学習室1室(8名)は、吉田南構内関係各部局の所属者に限ります。)個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。

▶ 図書館機構HP>「図書館・室一覧」タブ>吉田南総合図書館HP>環on



- ・図書館・室では、文献の所蔵場所や探し方、資料に関するご質問にお答えしています。各図書館・室の担当窓口にお問い合わせください。附属図書館ではオンラインでも受け付けているほか、1階ラーニング・コモンズ内の学習サポートデスクにて、様々な分野の大学院生スタッフが、日本語・英語をはじめ各種言語で図書館利用や学習に関するご相談におこたえしています。
 - ▶ 図書館機構HP>「学習／研究サポート」タブ>参考調査の申し込み
- ・文献収集法、データベースの使い方などの講習会を実施しています。また、ご要望に応じて、個別講習会を実施いたします。
 - ▶ 図書館機構HP>「学習／研究サポート」タブ>講習会
- ・各種データベースの使い方や資料別の探し方をご案内する「リファレンス・ガイド」がご利用いただけます。
 - ▶ 図書館機構HP>「学習／研究サポート」タブ>リファレンス・ガイド

4 研究・教育成果を公開するには

- ・研究の成果を「京都大学学術リポジトリKURENAI」で公開することができます。KURENAIでは既に14万件以上の学術雑誌掲載論文、紀要論文、学位論文、学会発表資料などが公開されています。
 - ▶ 図書館機構HP>本や雑誌・論文を探す>KURENAI (京大の論文)

5 最新の図書館情報・文献情報を得るには

- ・Mail News「Library Service News (LSN)」では、附属図書館からのお知らせを配信しています。
 - ▶ 図書館機構HP>図書館を使うには>図書館・室一覧>附属図書館HP>メールマガジン
- ・MyKULINEに条件を登録して、新着図書・雑誌のアラートサービスを利用できます。また、各種データベースに条件を登録して、論文のアラートサービスを利用できます。
 - ▶ 図書館機構HP>MyKULINE

- ・その他、図書館機構HPまたは所属図書館・室HPのお知らせをご確認ください。

6 図書館の情報を授業に活かすには

- ・図書館・室では、辞書・事典、データベース、図書、雑誌等を提供しています。これらを利用して、学生は文献リストやレポートを作成することができます。また、基本的な文献収集法やデータベースの活用法等について、講習会の開催や授業での補助を実施しています。これにより、学生は図書館資料の利用方法を身につけることができます。



総合博物館

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-3272

総合博物館の収蔵物

京都大学総合博物館は、大学の各学部や研究所などに個別に保管されていた資料を適切な環境の下で集中的に保管・管理し、広く学内外の先端研究や教育において活用されることを促進し、かつ、その成果を一般に公開することを目的として設置されたものです。京都大学が1897年の開学以来、100年以上にわたって収集してきた貴重な学術標本(自然史系、技術史系、文化史系など)約260万点を収蔵しています。

1 入館について

- ・ 京都大学の学生は、学生証を提示すれば無料で入館できます。
京都大学の教職員は、職員証等の身分証を提示すれば無料で入館できます。
▶ 開館時間:水曜日～日曜日 9時30分～16時30分(入館は16時00分まで)
【但し、年末年始、創立記念日及び夏期一斉休業日は休館です】



2 授業での利用について

- ・ 例年、理学研究科等の博物館実習、文学研究科の古文書演習や考古学演習が、総合博物館の所蔵する標本を素材として行われています。また、要望があれば、学生による標本の研究利用に対応しています。近年では、展示室を教育・研究の場として活用したいという要請が寄せられるようになり、分野を問わず積極的に受け入れています。
- ・ また、大学院生等による自主的活動として、毎週土曜日に「子ども博物館」の活動が行われています。自分の専門研究の内容をわかりやすく主に子どもたちを対象に解説するプログラムで、学術コミュニケーションの能力を育てるのに役立っています。すでに10年以上続いています。



3 京都大学研究資源アーカイブ

- ・ 京都大学研究資源アーカイブは、京都大学における教育研究の過程で作成・収集されたさまざまな資料、(写真、映像、録音、フィールドノート、実験・観測データなどの一次資料)を、体系的に収集・保存し、それを教育研究の資源(研究資源)として活用する大学全体の活動です。総合博物館が運営責任部局となり、学内各部局等の協力を得ながら事業を推進しています。

【研究資源は、「京都大学デジタルアーカイブシステムPeek」からご利用いただけます。】

- ▶ 資料保存をご希望の方は問い合わせ窓口(kurra-info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp)までご連絡を。
- ▶ <http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>

学生総合支援センター

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/>

障害学生支援ルーム

カウンセリングルーム

キャリアサポートルーム

学生総合支援センターの設置

大学生活の中で出会う様々な問題や困難な状況をより創造的に乗り越えていくために、またより豊かで充実した大学生活を送るために、学生生活上の様々な悩みについての相談やハラスメントに関する相談(カウンセリングルーム)、就職・進路に関する相談や情報提供(キャリアサポートルーム)、障害に関わる相談や修学支援(障害学生支援ルーム)など、それぞれの分野の専門スタッフが中心となって幅広いサポートを提供しています。



障害学生支援ルーム

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp.support/>

問い合わせ先 E-mail : s-sien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-2317

障害学生支援ルームでは、障害があるなどの理由により、修学上の様々な悩みや相談ごとをかかえる学生の相談に応じ、学習・研究上の必要に応じた修学支援(教育上の合理的配慮)を行っています。専任の支援コーディネーターを配置し、各部局や学内外の関連機関等と連携しながら、障害のある学生の修学支援を行っています。

1 障害学生支援ルームの役割

- ◆ 障害のある学生の授業保障や学生生活をおくる上での支援・相談
- ◆ 障害のある学生をサポートする支援学生の養成・派遣
- ◆ 支援に関連する部局や教職員との連携
- ◆ 支援物品、関連図書の貸出
- ◆ 支援ノウハウ、情報の蓄積・発信
- ◆ 支援に関する各種講座等の開講
- ◆ フリーアクセスマップ(バリアフリーマップ)の作成・配布
- ◆ シンポジウムや研修等の開催
- ◆ 受験希望者の事前相談、オープンキャンパスでの支援

<スタッフ>

障害学生支援ルーム室長：1名(兼任) チーフコーディネーター(助教)：1名
コーディネーター：2名 アシスタント：1名 専門スタッフ：1名 事務スタッフ：1名

2 修学支援について

対象：視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害などの障害により修学上支障がある者
(必要性が認められる場合は病弱虚弱や一時的な怪我などの相談にも応じます。)

範囲：講義、行事、その他必要であると認められる範囲

<支援の内容例>

視覚障害：資料等の点訳、対面朗読、ガイドヘルプ、音訳、書籍テキストデータ化

聴覚障害：ノートテイク、PC文字通訳、字幕付け

肢体不自由：施設・設備の整備、教室変更、介助者の配置

発達障害：修学環境の調整、TAの配置



<貸出物品>

関連書籍・DVD、車椅子、点字プリンタ、簡易筆談器、拡大読書器 など

3 交流スペース

障害学生支援ルームには、交流スペースを設けています。障害のある学生と、支援に携わる学生サポーター、さらには教職員も含めた交流の場となっています。また、障害に関する書籍や、支援に関するDVDなど、様々な情報を閲覧することができます。



カウンセリングルーム

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/counsel/index.html>

問い合わせ先 E-mail: counseling@www.adm.kyoto-u.ac.jp (吉田キャンパス)

TEL: 075-753-2515

カウンセリングルームでは、学生の皆さんの学生生活上の様々な悩みの相談や、教職員の皆さんの学生との関わり方についての相談、およびハラスメントに関する相談に応じています。社会も、大学も、大きく変わりつつある現状において、人間関係の上でも、個人の内的な価値や生き方の上でも、様々な問題や悩みが生じているように思います。これらに圧倒されてしまうことなく、生き生きとしたキャンパスライフを実現していく上で、カウンセリングルームがお役に立てればと願っています。

1 学生(学部生・大学院生)を対象とした相談業務

<学生生活上の様々な悩みの相談>

- ◆ 人間関係について悩んでいる
- ◆ 進路を変更しようか迷っている
- ◆ 自分の性格について考えてみたい
- ◆ 気持ちが落ち込んだり不安になることがあって苦しい
- ◆ 性のことで悩んでいる
- ◆ 指導教員から性的な嫌がらせを受けている
- ◆ 家族関係について悩んでいる
- ◆ 研究室内でハラスメントを受けている
- ◆ どういうわけか研究にやる気がでない



2 教職員を対象とした相談業務

- ◆ 学生との関わり方について相談したい
- ◆ 職場のハラスメントで悩んでいる

3 大学におけるハラスメントについて

・セクハラ、アカハラ、パワハラについての相談案内がWebに掲載されています。

▶ [カウンセリングルームHP](#) > 「ハラスメントについて」

4 啓発・広報

- ◆ 学部・学科などが主催する学生向けのオリエンテーションやガイダンスへの講師派遣
- ◆ 学内における教職員向けの各種研修への講師派遣
- ◆ 学内におけるハラスメント関係の各種研修への講師派遣



5 その他

・教職員が悩みを抱えた学生を援助するときの、一般的なアドバイスがWebに掲載されています。

▶ [カウンセリングルームHP](#) > 「教職員の方へ」

・学生の両親からの相談も受けています。

・困難を抱えた学生がいた場合、お気軽にまた安心してカウンセリングルームをご利用ください。

他の学内支援機関との連携も進めております。積極的に活用していただければと思います。

・桂キャンパスでは、健康科学センターの桂分室にてカウンセリングを提供しています。

※カウンセリングルームでは相談業務が行われていますが、健康科学センター(<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>)ではメンタルヘルスに関する診療が行われています(メンタルヘルス以外の診療も行われています)。併せてご活用ください。



キャリアサポートルーム

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/career/>

問い合わせ先 E-mail: shushoku@mail.adm.kyoto-u.ac.jp (吉田キャンパス)

TEL: 075-753-2483(吉田キャンパス) / 075-383-7317(桂サテライト) / 0774-38-4554(宇治サテライト)

キャリアサポートルームは、学生(学部・大学院)、博士号取得者(ポストドクター)等の就職活動を支援するために、求人票やOB・OG名簿等の情報・資料を各種取り揃えて提供しているほか、学生のキャリア形成に資するための就職ガイダンス、キャリアデザイン講座、キャリア研究セミナー、国家公務員各府省業務説明会等を開催しています。また、就職相談室を設けて就職活動における悩みや不安などについてのアドバイスを行っています。キャリアサポートルームにある就職関連図書や面接DVD等については貸出も行っていますので、気軽に来室して利用してください。



1 就職支援について

・学生の就職や就職活動に関する様々な相談に窓口で対応するとともに、以下の活動を行っています。

- ◆ 求人情報の収集と提供
- ◆ インターンシップの情報(個人応募分)の収集とホームページでの公開
- ◆ 企業等在籍OB・OG名簿の収集・管理と閲覧供与
- ◆ 就職関連図書・DVDなどの貸出
- ◆ 就職ガイダンス・セミナー・講座等の企画・開催
- ◆ 合同企業説明会の開催
- ◆ 就職相談室(予約制)の開催・運営
- ◆ 「就職のしおり」の編集・発行

・博士号取得者(見込みを含む)に特化した就職ガイダンス等の開催、個別相談、求人情報の提供、マッチングサイトの運営などを行っています。

2 ルームの場所と開室日時

キャリアサポートルーム(吉田キャンパス)	平日 9時～17時
桂サテライト	平日 11時～13時 / 13時45分～17時
宇治サテライト	月・水・木 11時～13時 / 13時45分～17時

※開室日時は変更することがあります。ホームページで確認してください。



環境安全保健機構健康管理部門 保健診療所

<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 075-753-2404 (保健診療所受付)

保険診療所の設置

保健診療所は、医師、看護師、保健師、薬剤師、医療事務職員が常駐し、応急処置や保健指導・健康相談、予防接種、診断書発行、内科および神経科の診療を行っています。

1 利用案内

対象：京都大学に所属する学生、教職員が利用できます。
費用：学生・非常勤職員の方の相談や診察は無料ですが、薬の処方や検査は実費負担となります。教職員の方は文科省共済組合保険により窓口負担3割負担となります。
利用方法：診察の予約は不要です。常勤教職員の方は保険証を、それ以外の方は学生証または職員証を持参の上、直接来所してください。



2 診療業務

・内科および神経科医師による診察は以下の日程にて実施しています。
治療薬の処方、血液・尿検査、心電図検査、X線検査、その他の検査も可能です。



<診療日程・時間>

(2016年7月30日現在) 内科○ 神経科● 医師診察日

	月	火	水	木	金
午前 (10:00-12:30)	○	●	○	●	○●
午後 (14:00-16:30)	○●	○	○●	○	○

健康診断業務等にて、診療日程および時間に変更となることがありますので、診療カレンダーを確認の上来院してください。
診療カレンダーは診療所前の掲示板、ウェブサイトに掲載しています。
▶ <http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp>

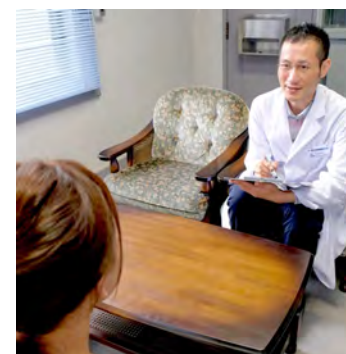
3 応急処置

・9:00～17:00までの間、医師による診察時間外にも看護師による応急対応を行っています。応急処置が必要な傷病が発生した場合には、保健診療所内科(内線16-2405)までご連絡下さい。なお、反応がないなど緊急を要する状態や重大な事故などの場合は119番通報を優先してください。



4 保健指導・健康相談

・生活習慣による高血圧や体重増加などの改善を目指す方を対象に、食事や運動の方法について保健師による保健指導を行っています。その他、健康に関わる相談を受け付けています。



5 海外渡航時の予防接種

・海外渡航する学生および教職員に対して、予約にてA型肝炎、破傷風、狂犬病のワクチン予防接種を実施しています。詳細についてはウェブサイトを確認してください。なお、インフルエンザの予防接種は実施していません。

6 宇治・桂分室

・宇治キャンパス、桂キャンパスの各分室でも医師による診察や看護師による応急処置、保健指導等を実施しています。

<診療日程・時間>

(2016年7月30日現在) 内科○ 神経科● 医師診察日

	月	火	水	木	金
宇治 (午前) (10:15-12:15)		○		●	
桂 (午前) (10:00-12:30)		○		○	●

<ヒーリング・エクササイズ>

桂分室にはエアロバイク等を備えたエクササイズルームと、アロマテラピーも可能なヒーリングルームがあります。
所属キャンパスに関わりなく、無料で利用できます。



国際教育支援室および国際教育交流課

国際教育支援室(IEA室) <http://www.jgp.kyoto-u.ac.jp/iea/>

問い合わせ先 国際教育支援室 TEL: 075-753-5582 / 国際教育交流課 TEL: 075-753-2543

国際教育支援室および国際教育交流課の業務

国際教育支援室では、国際教育アドミニストレーター(IEA)が、全学的な学生派遣及び留学生受入れをサポートしています。教育推進・学生支援部国際教育交流課、国際高等教育院、その他部局と連携して、短期派遣プログラムを企画立案し、できるだけ多くの学生が海外で学ぶ機会を増やすと同時に、京都大学の学生が、外国人留学生と交流し、共学や文化体験できる短期受入れプログラムの提供を支援しています。

1 外国人留学生・研究者受入れに関するプログラム・支援

・京都大学での学生生活や研究生生活を支援する様々なサービスを行っています。

【アドバイジング】

・留学生相談室では、留学生・外国人研究者の修学・研究上での、あるいは日本の生活上での様々な悩みや心配事について、指導・助言を行っています。

▶ <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/advising/>

【多文化交流活動(留学生ラウンジ「きずな」)】

・京都大学に在籍する留学生の相互交流、また、留学生と日本人学生および教職員の交流を促進するための様々な活動を行っています。

▶ <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna/>

【Admissions Assistance Office:AAO】

・本学へ、研究生または大学院生として入学を希望する中国本土・香港・台湾の大学卒業・卒業見込み者の出願手続きが円滑に行われるよう支援を行っています。

▶ <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aa.html>



2 日本人学生送出しに関する支援

・海外留学を目指す学生のために様々な支援を行っています。

【留学説明会「留学のスズメ」】

・年間を通じて、留学説明会を開催しています。

・学生向けの海外留学最新情報は下記のサイトで見られます。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/reserve/susume

【海外留学に関するアドバイス】

・学生の海外留学支援のために、各種留学相談を受け付けています。

・相談スタッフ・相談予約方法・連絡先の情報は、下記のサイトで見られます。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/reserve/advice.html

3 国際的な教育プログラム

・国際教育支援室および国際教育交流課では、様々な国際教育プログラムの企画立案、提供、支援を行っています。

3-1. 海外派遣プログラム

【交換留学】

・大学間学生交流協定による派遣留学のプログラムです。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/program1/exchange

【京都大学若手人材海外派遣事業 ジョン万プログラム(学生派遣プログラム)】

・世界のトップ大学において学習・研究を行う機会を提供することにより、高度な専門性、並びに国際性を育み、グローバルに活躍する上で必要とされる国際的ネットワークと高い志を有した、次世代を担う若きリーダーの育成を目指す京都大学独自のプログラムです。

▶ <http://www.john-man.rp.kyoto-u.ac.jp/student/index.html>, <http://www.jgp.kyoto-u.jp/iea/>

【超短期留学・研修】

・主に夏期、春期休暇に参加できる日本人学生向け海外留学研修プログラムです。語学研修、文化研修、インターンシップなどを目的とし、大学を通じて応募するプログラムと、直接個人で応募するプログラムに大別されます。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/program2, <http://www.jgp.kyoto-u.jp/iea/>

3-2. 京大で学ぶ英語によるプログラム

【京都大学国際教育プログラム(KUINEP)】

・海外の協定校から迎えた交換留学生と京都大学の学生を対象とした英語による講義です。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/class/kuinep

3-3. KCJS/SJC英語講義の受講制度

・KCJSとは「京都アメリカ大学コンソーシアム(Kyoto Consortium for Japanese Studies)」、SJCとは「スタンフォード日本センター(Stanford Japan Center)」の略で、いずれも米国の大学が運営する高等教育機関です。KCJS/SJCが京都で提供する英語講義に、京都大学の学生が米国の大学生と共に受講できる制度です。

▶ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/class/kcjssjc





男女共同参画推進センター

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail: w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-753-2437

男女共同参画推進センターの活動

男女共同参画推進センターは、京都大学男女共同参画推進本部の実施部門である男女共同参画推進委員会のもとに設置されています。センターは、広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ、育児・介護支援事業ワーキンググループ、病児保育事業ワーキンググループ、就労支援事業ワーキンググループによって、さまざまな活動を行っています。

1 情報提供

- Webサイト、ニュースレター「たちばな」を通じて様々な情報発信を行っています。是非、メーリングリスト登録を行ってください。

2 研究会・研修会の開催

【男女共同参画に関するシンポジウムや研究会】

- 男女共同参画に関連したシンポジウムや研究会、研修会を適宜開催しています。

【“Women and Wish” フォーラム】

- 男女共同参画社会実現のための課題や方法について考えるトークセッションを開催しています。



3 授業での利用、開講されている授業

【授業での施設利用】

- 講義・ゼミの一環としてセンターを訪問していただき、活動内容や男女共同参画の動向について情報提供することも可能です。

【性差・ジェンダーに関する全学共通科目】

- 全学共通科目として、前期に「ジェンダー論」を開講しています。また、ILASセミナー「ジェンダーと科学」も開講しています。

4 利用できる施設・設備

【会議室・図書】

- 小規模の会議や研究会にセンター内会議室が利用できます。また、教員からの寄贈図書やジェンダー関連書籍も備えており、図書の貸し出しも行っています。

【保育室・保育サービス】

- 京大病院内に、感染隔離室を整備した「病児保育室(こもも)」を設置しています。また、センター内には「保育園入園待機乳児のための保育室」を設置しており、さらに保護者に替わってシッターが子どもを迎えに行き、センターで一時保育を行う「お迎え保育」も行っています。



5 研究支援

【研究・実験補助者雇用のための支援制度】

- 出産・育児・介護のため、研究時間の確保が困難な男女研究者に対して、研究・実験補助者の雇用経費を支援する制度です。年2回(6月、12月)募集しています。

【京都大学優秀女性研究者賞「たちばな賞」】

- 「たちばな賞」は、優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成を目的として、2008年9月に創設されました。毎年、研究者部門・学生部門各1名ずつを表彰し、表彰式において受賞者による研究発表を行います。



6 その他

【女子高生車座フォーラム】

- 「京都大学を知ろう、研究者と語ろう」というテーマのもと、毎年開催する女子高校生車座フォーラム。研究のおもしろさや苦労、大学卒業後の将来設計のための心得など、さまざまな疑問に答えます。



高等教育研究開発推進センター

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail : 550center@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-3087

高等教育研究開発推進センターの活動

- 「学生がよく学ぶ大学」をめざしてサポートを行います。
- ・京大の教育改革支援 ・教育コンテンツの開発・活用 ・大学教員の実践知の共有 ・大学教員のキャリア形成支援

1 京大の教育改革支援

【勉強会の企画・運営】

- ・京都大学では現在、全学の教育制度委員会の下で、コースナンバリングやGPA、カリキュラムの体系化などの教育制度改革が進んでいます。2014年度は学士課程、2015年度は大学院課程においてカリキュラムの可視化を行いました。本センターは、それらの改革を支援するために、勉強会の企画・運営に携わるとともに、要望に応じて各部局のコンサルテーションを行っています。



【FD研究検討委員会の支援】

- ・センターは、FD研究検討委員会の活動を全面的に支援しており、「大学院生の教育実践講座」や「新任教員教育セミナー」などの研修プログラムを企画・実施しています。

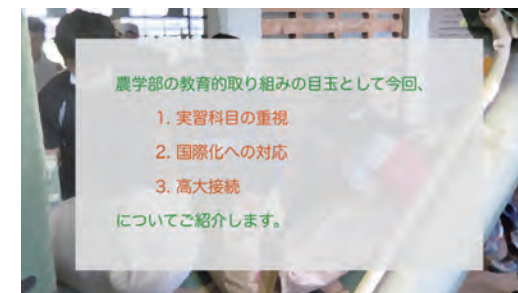
FD研究検討委員会では、毎年、『京都大学のFD』を発行するとともに、ウェブサイトに勉強会のコンテンツや各部局における授業評価の事例などを掲載し、学内のFD・教育改善の取組を一覧できるようにしています。

▶ <http://www.fd.kyoto-u.ac.jp/>



【部局の特色ある教育の可視化プロジェクト】

- ・センターでは、日常的に行われている教育活動を「見える化(可視化)」するためのプロジェクトを実施しています。2015年度は、その第一弾として、「各学部の特色ある教育的取組」について映像化、全学教育シンポジウムで共有しました。さらに、大学院課程や授業レベルでの取組の可視化などについても検討しています。このように、日常的な実践を可視化し、共有することで、教育活動の質的向上を図ることをめざしています。



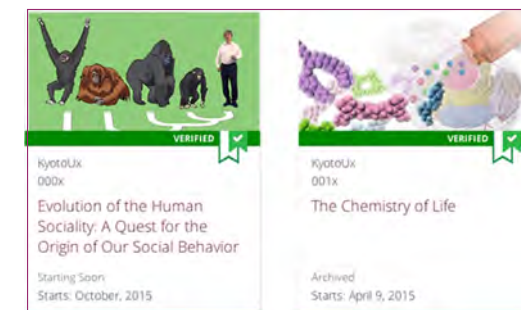
【アセスメントに基づく教育改善支援(教学IR)】

- ・教育制度やカリキュラム、授業を持続的に改革・改善する上でも、学生がどのような知識や能力を身につけたのか(=学習成果)を含む様々な教学に関わるデータの収集と分析、それに基づく改革・改善方法の提示は重要になってきます。
- これまでも、センターでは全学学生調査などを実施してきましたが、2016年度からはさらにこの機能を強化し、教学IRとして活動を進めていきます。
- 教学IRとは、教育や学生支援に特化したIRです。IR(Institutional Research)は、機関固有の課題について調査・分析し、改革・改善に資する情報を提供するなど機関の意思決定を支援する取組全体を指します。各部局のカリキュラムや全学の教育課題だけでなく、個別の授業についても、要望に応じてアセスメントの実施・分析などのサポートを行っています。

2 教育コンテンツの開発・活用

【MOOC:KyotoUx】

- ・MOOC(Massive Open Online Courses)は、インターネットを通じて配信される、無償または安価で受講できる講義のことで、「大規模オープンオンライン講義」とも呼ばれています。世界中から数千～数万名が受講登録し、受講者は講義ビデオやオンラインテストなどを通じて学習を進めます。また、大学の講義と同じように、数週間～数ヶ月かけて受講し、受講期間終了後、一定の成績を収めた合格者には修了証が発行されることもあります。
- 京都大学は、2013年5月に日本で初めてedXへの加盟を発表しました。edXは、MITとハーバード大学が中心となり設立された、世界トップレベルの大学で構成されるMOOCプラットフォームです。京都大学は、edXを通じ、「KyotoUx」という名称で英語による講義を配信しています。
- MOOC開講に興味ある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。
- ▶ <https://www.edx.org/school/kyotoux>



【OCW】

- ・オープンコースウェア(OCW)は、学内で正規開講されているすべての講義を無償公開することを目標に、MITが開始したプロジェクトです。講義ビデオ、講義ノート、シラバス、小テスト、試験、シミュレーション教材など、MITでは2,260を超える全講義が公開されています(2015.8現在)。
- 京都大学もOCWを提供しており、講義ビデオや講義ノート、研究会やシンポジウム、講演会などを、OCWを通じて2000以上のコンテンツを学内外に向けて配信しています(2005年～)。映像などの資料はすべて無料でアクセスできます。
- OCWで授業を公開することに興味のある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。
- ▶ <http://ocw.kyoto-u.ac.jp/>



3 大学教員の実践知の共有

【全学教育シンポジウム】

- このシンポジウムは、1996年から年1回、開催されており、京都大学の教職員が、全学的な教育のあり方や教育の改善・充実の方向性について議論し、部局の枠を越えた意見交換を行う場になっています。近年は教育担当理事が主催し、2015年度からはFD研究検討委員会の企画により、高等教育研究開発推進センターが実施・運営に携わっています。



【MOST】

- MOST(モスト)は、授業改善や教育改善の知識や経験、ノウハウやアイデアなどを大学教員コミュニティで共有するために構築したサイトです。これまで作成された250以上の授業実践やFDの取り組みを誰もが閲覧できるほか、サイトに登録すれば、自身の取り組みについてマルチメディアポートフォリオを作成、公開することができます。
- また、大学教員であれば誰もが持つ、授業に関する小さなアイデアやノウハウ、ティップスを、手軽にオンラインコンテンツ化し、教員コミュニティで共有することを目的として構築された、MOS室(モストレジャー)というツールも利用できます。作成されたコンテンツを使った実践報告を投稿することにより、教員間で情報交換したり、新たなアイデアを共有することができます。

MOSTの利用に興味のある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。

▶ <https://most-keep.jp/>



【大学教育研究フォーラム】

- 大学教育研究フォーラムは、全国から600名以上の教職員が集い、大学教育の実践的研究の成果を持ち寄り、口頭発表・ポスター発表を行うもので、例年3月に、2日間にわたり京都大学で開催されます。シンポジウム、小講演などでは、大学教育に関わる最先端のトピックが取り上げられ、京大にいながらにして、全国の様々な大学の優れた教育実践や教育動向を把握することができます。



4 大学教員のキャリア形成支援

【大学院生のための教育実践講座】

- 将来、大学教育に関わることを希望する京都大学の大学院生、ポストドク、オーバードクターなどを対象とした一日研修です。
- 大学教員になるための自己形成の場を提供し、また現在の大学教育における課題を共有することを目的に、年に一度8月に開催されています。
- 参加者には、京都大学総長より修了証が授与され、大学教員公募の際の提出資料として活用できます。



【研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」】

- 参加者同士の議論と授業デザインの実習を中心に、大学で教えるということに関する知識とスキルを身につけることを目的とした、京都大学大学院の正規科目です。将来、大学の教壇に立ちたい大学院生の支援となっています。



【文学研究科プレFDプロジェクト】

- 文学研究科のポストドク・オーバードクターのためのキャリア形成支援を目的としたプロジェクトです。毎回の公開授業検討会と事前・事後研修会を行います。所定のプログラムをすべて修了した参加者には、京都大学総長より修了証が授与されます。すでに100名以上が修了証を得ています。



【新任教員教育セミナー】

- 京都大学に新たに採用された新任教員を対象としたセミナーです。
- 「京都大学らしい教育とはどのような教育か」を考え、「学内にはどのような教育サポートリソースがあるのか」「大学・部局や教員はどのような教育的課題を考え、それにどう取り組んでいるのか」を知ってもらうための機会となっています。
- ミニ講義やグループディスカッション・ワークショップを通して、京都大学の教育について理解・議論できるプログラムです。毎年9月頃に開催されています。

▶ <http://www.fd.kyoto-u.ac.jp/>





京都大学の教育サポートリソース 第3版

発行日／2016年9月1日

発行者／京都大学高等教育研究開発推進センター

デザイン／(有)原宿春夏

印刷／印刷通販プリントパック